

関西中央高等学校

## その写真、UPして大丈夫？～友達の写真の公開について考えよう

### 授業実践の方法

- ・対象：高校1年生 男子 女子
- ・場所：HR 教室
- ・環境：スライド提示用ノート PC プロジェクタ
- ・指導者：村上徹教諭
- ・実施時期：2013 年秋



村上徹教諭

### 実践報告と今後の課題

#### ■「その写真、UPして大丈夫？～友達の写真の公開について考えよう」の指導案

スマートフォンやデジタルカメラで撮影した写真をインターネット上にUPする、という行動が問題になる場合があります。友人の写真は撮影するとき、インターネットに掲載するときの2つのポイントで留意する必要があります。友人同士で共有できるというよい面がある一方で、第三者に悪用される可能性があることをしっかり理解する必要があります。

また、インターネットで自分の投稿を一人でも多くの人に見てもらいたい、多くの人から何らかの評価やコメントがほしいという気持ちから、興味をひくような写真を撮ってSNSに掲載してしまうことがあります。それがエスカレートすると常識では考えられないような写真をSNS上に掲載してしまうのだと思います。

そこで今回の授業では、友人同士で撮った写真をSNSに掲載する場合の利点と注意点を扱いました。情報モラルの授業では講義スタイルが多くなりがちですが、体験的な教材を用い、それを元にディスカッションの形式を取り入れることにより、生徒たちの自ら考える機会が多くなるようにデザインしました。

#### ■授業の様子

授業では、最初にさまざまなメディアに個人の写真がのる場面を提示し、よい記事や悪い記事に掲載されている写真についての印象の違いやSNS等について説明しました。その後はグループに分かれて、写真を掲載する立場、写真を掲載される立場になったつもりでそれぞれのメリットとデメリットについて生徒に考えさせました。ディスカッションでは、たとえ友人同士だけに限定した場所に写真を置いたとしても、友人の誰かが他の場所に転載した場合、公開範囲が広がってしまう可能性など、さまざまな意見が自発的に出されました。

#### ■生徒の皆さんが学んだこと ～授業後のアンケートより～

- ・写真をアップロードしたらどんなデメリットがあるかが分かった。
- ・今日の授業でインターネットのブログをちゃんと使わないと危険なことや、写真を載せるときにその載せる人に聞いてから載せることが大切だと思いました。
- ・どういうふうインターネットやブログでつながっているのかが分かった。

#### ■今後の課題

インターネットは、使い方によっては非常に便利で役に立つものです。インターネット上で情報を発信する際には気をつけなければならないことがたくさんあります。そのなかでも、非常に多くの人に、一瞬で広がってしまう点がもっとも大事なのではないかと思えます。見ている人が多いということは、いろいろな立場や考え方の人が見ているということであり、どのように受け取られるかを考えておかないと、悪意がなかったとしても思いもよらないところで人を傷つけたり、迷惑をかけたたりする可能性があります。

また、国や文化によっては、人の写真を撮ることに非常に配慮が必要な地域もあります。写真を撮る場合には、自分の立場だけで行動することなく撮られる立場をよく考えることを身につけるような展開にしていくことができればと思います。

情報モラルは、頭で理解してもなかなか現実とは結びつかないことが多いようです。教室で話を聞いたり、プリントで問題として出されたりした時にはしてはいけないことがきちんとわかっているのに、ネット上ではしてしまう、ということがあります。今回の授業では、ディスカッション等を通して、教師の期待する答えでなく自分たちで写真の掲載について何に気をつけたらよいかの答えを導く工夫をしました。生徒たちの状況に合わせて指導案等をアレンジしていただければいいと思いますが、現実に結びつく学びを展開できれば嬉しいです。